

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクラブ Little by little(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・午前と午後に療育活動時間を設けることで安定して事業所を利用することができる。 ・	・幼稚園、保育園との併行通所を円滑に行えるように午前と午後に療育時間を設けている。幼稚園、保育園での行事を優先的に参加できることや安定して療育時間を確保することができているように配慮している。	・子どもの発達状態に適した小集団での活動内容の検討。 ・子ども一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修の実施。 ・子どものニーズに応じた活動プログラム作成。
2	・心地よく、安心して過ごせる場所。	・楽しく、細やかな働きかけのある中で、子どもたちに「ここにくれば、自分のことをわかってもらえる」「ここなら好きな友だちがいる」と落ち着いて過ごせる居場所、空間になるように支援をおこなっている。	・個別のニーズに対応した居場所をつくることで、子どもの権利を守るとともに、子どもたちが安心して成長できるように感環境設備を行う。 ・異年齢の利用者とやりとりを行う機会を得ることで家庭では得られない知識や経験を積めるようにする。
3	・保護者に心と時間に余裕が持てる環境づくりを行う。	・子育てに悩みを抱える保護者の相談やリフレッシュする場、子どもの預け先になったり、情報交換の場となれるように環境を整えている。 ・また、気兼ねなく相談できるように普段からコミュニケーションを密にとるように心掛けている。	・一人で抱え込まないように協力者を作ることや専門的な視点から少しでも負担が減らせるようなアドバイスや助言を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会が不足している。	・活動時間に限りがある事や利用人数の不安定さもあり、近隣の「保育所や幼稚園などとの交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供することが出来ていない。	・保護者の方からの要望などを伺いながら、必要とされている交流がないか検討していきます。
2	・保護者や職員にとって不明瞭な設問あった。	・保護者や職員それぞれに情報共有を行っていますが、緊急時の対応についてなど、共有している情報の質や量に差があり、保護者が求める情報内容と一致していないことがある。	・定期的な職員研修の際、保護者と共有しなければならぬ情報内容を再確認することや保護者が不明瞭な点に関しては、面談時に丁寧な説明を行っています。
3	・保護者同士の交流機会がない。	・現状で満足しているとの意見が多く、特に交流の場の提供の依頼などもない事で必要性が低いと感じている為。 ・仕事をされている保護者も多く、参加が難しいとの声が多い為。	・保護者の皆様のニーズに応じた開催方法がないか検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズクラブLittle by little

公表日 令和 8年 2月 20日

利用児童数 令和7年12月 1日(7名)

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3		2	・課外活動の際に他児との関わりを持つ程度だと思っています。現在は、それと充分だと感じています。	・今後、必要に応じて検討していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1			・特に必要性を感じていない。	・今後、必要に応じて検討していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	4	・機会はありませんが、現在必要性を感じていない。 ・働いているので参加は難しい。	・今後は、必要に応じて検討していきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1			・整理整頓を行い、安心して過ごせる環境作りを行うことや
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7			・幼稚園よりリラックスできていると感じている。 ・通所日を楽しみにしている。	・今後も子どもたちが過ごしやすい、保護者できる環境を作っていく予定です。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズクラブLittle by little(児童発達支援)		公表日		令和 8年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動内容に応じて、十分な活動スペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・活動内容や利用人数に応じて人員の調整を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・排泄の際や手洗いの際には、踏み台を用意し、それぞれ調整して利用できるようにしている。	・必要に応じてバリアフリー化なども検討していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・活動後の時間に清掃活動を取り入れていることや毎日、職員が清掃活動を行い、チェック表で確認している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・個別に取り組める環境を設定することや必要に応じてパーティションを活用している。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・毎朝のミーティングの際、必要事項について確認を行うようにしている。 ・必要に応じてミーティングを開催している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者からの意見は少なかったが、ご意見を頂いた際は、職員会にて全職員に情報を共有し、改善に努める。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎朝ミーティングを行い、情報共有を行っている。	・報告漏れなども発生している為、情報共有の方法で改善できる点は改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・第三者による外部評価は行っていない。	・今後、必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	・外部研修などがある際は、参加するようにしており、参加した際は、研修後に職員間で情報共有している。	・人員配置の関係上、参加が難しい場合もある。できるだけ参加できるように今後、職員の増員も含め改善に努めていく。	
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・ホームページに支援プログラムを掲載している。 ・面談時に公表している。	・適宜修正を行い、個々の利用者に適している計画書の作成するようにする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・日々の様子や保護者の意向、相談支援事業所の情報を密に確認し、ニーズや課題を汲み取り作成するようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・個別支援会議を開催し、職員間で意見を交換し、作成するようにしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・朝のミーティングや職員会議で支援内容を確認するようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・保護者からの意向や相談支援員の方から頂いた情報と日々の活動から把握確認を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・全利用者の支援計画に5領域を取り入れて作成を行っている。その他の支援内容に関しては、家族の意向を確認するなどして、支援内容を設定するようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・職員間のミーティングを通して担当者による支援プログラムの立案を行っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・毎朝のミーティング時に活動プログラムの確認を行うように徹底している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・その日の利用者を把握し、個別活動や小集団活動などを考えるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・朝のミーティングを徹底し、前日の活動の振り返りを行うことや反省点を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・朝のミーティングを行い、前日の支援活動の振り返りや反省点、特記事項等の確認を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・活動に参加した職員が活動の取り組み状況や利用者の様子を日誌に記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・6か月以内のモニタリングを徹底している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・主に担当職員と児童発達支援管理責任者が参加するようにしているが、他の職員も参加し、情報共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・保護者に許可を頂き、保育園、幼稚園とは、送迎時に情報共有を行う等、連携を取れるような関係性が築けるように心掛けている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・幼稚園、保育園など籍園との併行通所の場合は、利用時間や曜日の調整を行うようにしている。	・行事等がある際は、急な利用変更になることが多く、保護者との連携ミスが起こることも見られている。情報共有を密に行うことや聞き取った情報を職員間でも共有する必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・学校との連携は保護者の要望や希望に応じて対応するようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		・必要に応じて電話連絡を行い、情報共有を行うようにはしているが、常日ごろからの連携は取れていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		・現在は行っていない。職員間で話し合い、必要に応じて検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・利用日には毎回、連絡帳アプリで活動内容や課題点などの情報共有を行うようにしている。また、3か月に一回の面談を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・現在は行っていない。研修への参加など、職員間で話し合い、必要に応じて検討していきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・面談の際に説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・保護者の方と日程調整を行い、面談日を設け、保護者の意向を確認することや家庭での様子を聞き取りしている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・対面にて、計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・6か月以内に面談日を設けている。その他、相談や困りごとがある際は適宜、電話連絡や面談を設けるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			・現在、保護者会は設けておらず、必要に応じて検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・相談や申し入れがあった場合、面談日を設けることや電話にて対応するように努めている。苦情受付は、重要事項に記載し、契約時説明を行っている。	・現在、苦情などの問い合わせはないが、研修へ参加し、苦情への対応などを職員会で共有している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・利用時は連絡帳アプリにてその日の活動内容や課題を共有するようにしている。定期的にHPやSNSにて活動の様子を掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報が入力されている書類に関しては鍵付きのロッカーにて保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・視覚支援カードを活用し、伝達方法を工夫することや伝達方法を保護者と共有するようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			・現在、地域活動への取り組みは行っておらず今後必要に応じて検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・事故・災害・感染症マニュアルを会議などで確認を行っている。 ・2か月に一回、さまざまな災害に対する避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCPは策定しており、2か月に1回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			・現在、服薬・予防接種・てんかん発作などの利用者はいないが、必要に応じて保護者と相談、対応していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4		・食事の提供は行っていないが、利用開始時に保護者の方にアレルギーの有無の確認は行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画を適切に活用するように定期的に見直しを行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・緊急時の連絡先を確認するなど、常に連絡が取れるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットな事例があった際は、報告書に記録し、職員会で議題にだし、今後同じ事案がないように改善策を話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・外部研修に参加し、研修内容を事業所研修にて共有するようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・外部研修に参加し、研修内容を事業所内研修にて共有するようにしているが、現在身体拘束を必要としている利用者はいない。		